

令和2年3月2日

保護者の皆様

仙台市立東宮城野小学校
校長 青木 敏彦

教育活動に関するアンケートの集計結果について

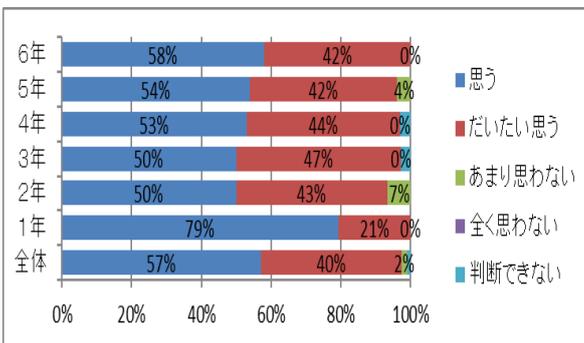
春寒の候、保護者の皆様にはますます御清祥のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動に御理解と御協力をいただき、厚く感謝申し上げます。

さて、保護者の皆様に御協力をいただきました「教育活動に関するアンケート」の結果がまとまりましたので、下記のとおりお知らせいたします。学校ではこの結果を参考に、教育活動の成果、課題を明らかにし、次年度の教育活動に生かしていきたいと考えております。

アンケートへの御協力につきまして、改めて感謝申し上げますとともに、次年度の教育活動に対する御理解・御協力をお願い申し上げます。

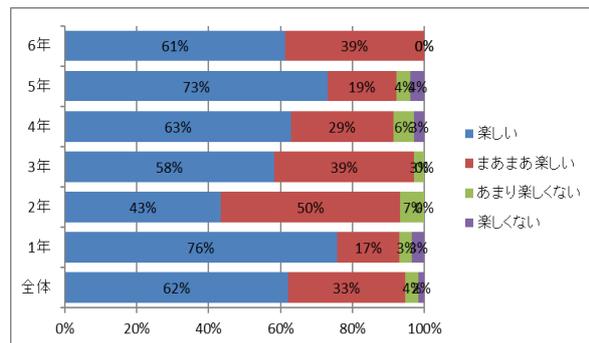
○保護者アンケートの結果

1 お子さんは楽しく学校生活を送っていると思いますか



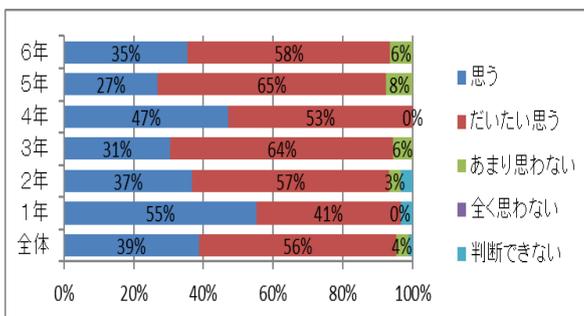
○児童アンケートの結果

1 学校は楽しいですか

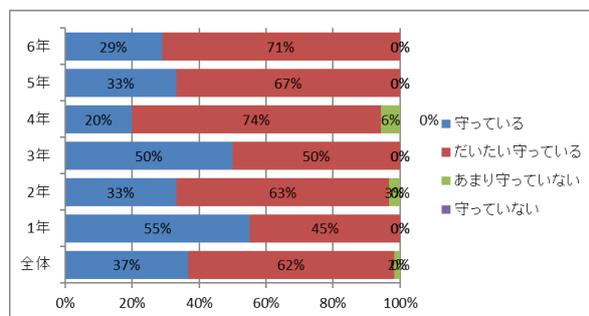


児童の約95%、保護者の97%が学校生活が楽しいと思っている傾向にあり、良好な学校生活を送っている児童が多いことが分かります。しかし、昨年度と比べますと、児童の「あまり楽しくない」「楽しくない」が約2%増えており、先生方が子供たち一人一人をよく理解し、子供たちの心に寄り添った指導を行い、さらに楽しいと思える学校づくりを推進していく必要があります。

2 お子さんは学校のきまりを守って生活していると思いますか

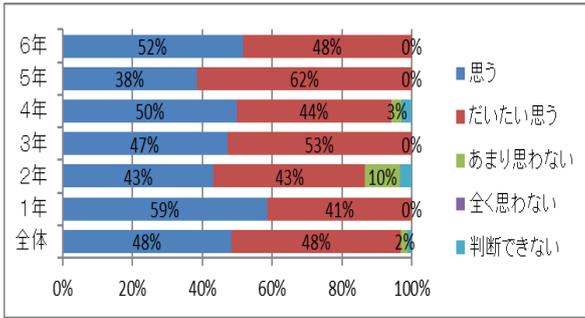


2 学校のきまりを守って生活していますか

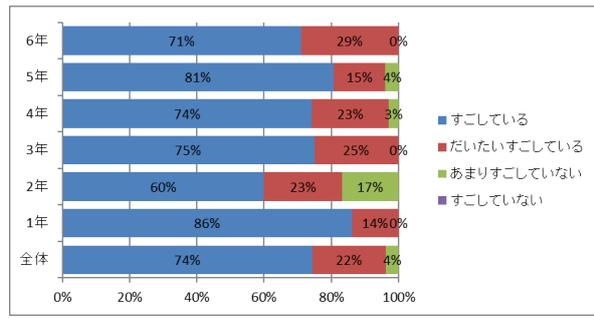


規範意識については、全体的に見ると良い傾向にありますが、上学年になると判断基準が少し厳しくなり、「守っている」割合は少し低くなっています。「守っていない」と答えた児童はいませんでした。学校では「あまり守っていない」児童に対して、きまりの意義をしっかりと考えさせて、きまりを守って集団生活を送ることの大切さについて引き続き指導していきたいと考えます。

3 お子さんは学校で友達と仲良くすごしていると思いますか

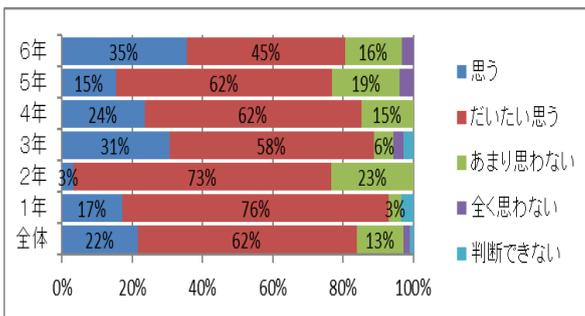


3 ともだちと仲よくすごしていますか

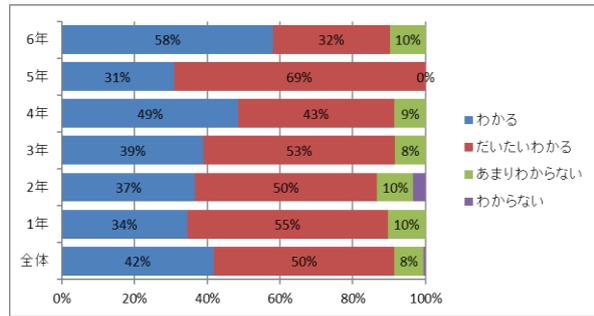


保護者、児童とも、「仲良くすごしている」「だいたい仲良くすごしている」を合わせると95%以上という良い結果となっています。これは、本校の伝統的な学校文化、小規模校のメリットの一つと考えられます。また、先生方の普段からの「いじめ防止」についての指導による成果とも考えられます。今後も学校生活全体を通して、児童のコミュニケーション能力を高め、全ての児童が「友達と仲良く過ごし、いじめは絶対にしない」という意識をもって、学校生活を送ることができるよう指導を続けていきたいと考えます。

4 お子さんは学校での勉強を理解できていると思いますか

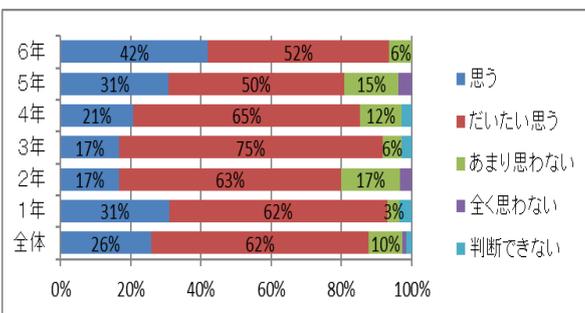


4 学校の勉強はわかりますか

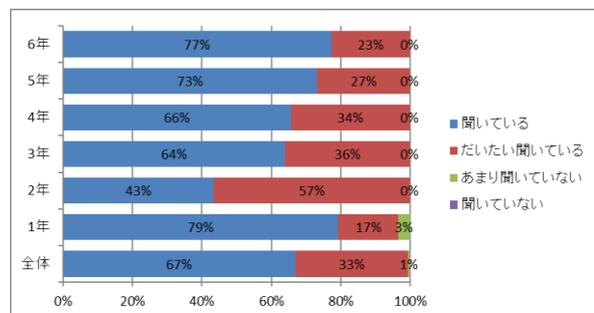


「わかる、だいたいわかる」と答えている児童は92%、保護者は84%で、少し開きが見られます。これについては、普段から保護者の皆様が、学校から持ち帰ったテストやプリント、宿題や家庭学習の様子について細かく見てくださっている結果だと考えられます。今後ともよろしくお願いたします。学校としては、「あまりわからない」「わからない」と答えた児童に対して、理解ができていない内容についてしっかり把握し、少数指導や個別の課題等で学習の理解を深めてまいりますので、御協力をお願いいたします。

5 お子さんは先生や友だちの話をしっかりと聞いていると思いますか

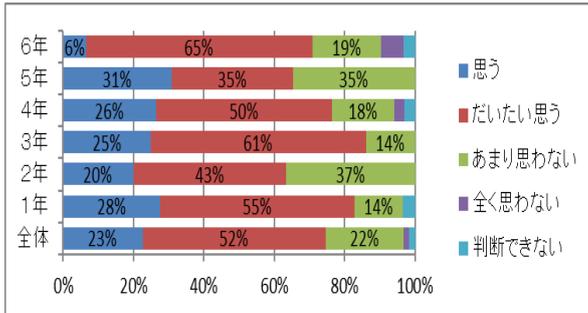


5 先生や友だちの話をしっかりと聞いていますか



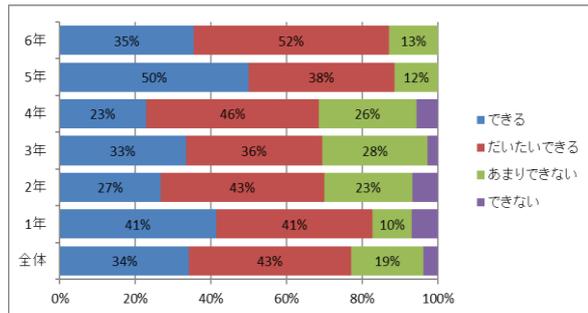
児童のほぼ全員が、話をしっかりと聞いていると答えています。特に、1年生と6年生は自己評価が高くなっています。学校生活では、朝会や集会での話の聞き方が大変素晴らしく、お招きしたゲストティーチャーの方や来校されたお客様からもお褒めの言葉をいただいています。一方、保護者の評価では、よく聞いていないという回答も見られます。今後は、協働型学校評価等を通して、学校だけでなく、家庭生活など、さまざまな場面で、しっかりと話を聞く力を育てていきたいと考えますので、御協力をお願いいたします。

6 お子さんは自分の考えや思っていることを話すことができますか

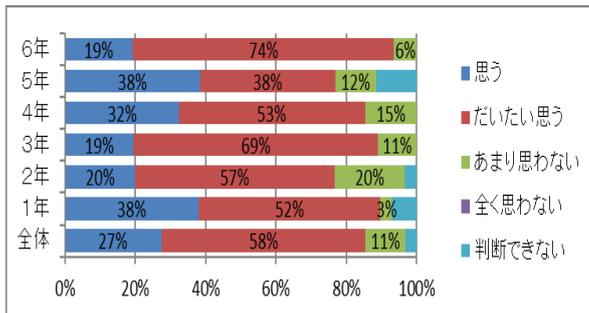


昨年度と同様に、聞く力と比べると児童の自己評価は低くなっています。保護者の評価でも「あまりできない」の割合が多く、本校の児童の課題であることが分かります。学校では、次年度も授業中だけではなく、朝の会や帰りの会、学校行事、たてわり活動等で児童が感想や意見などを話す場面を設定し、話す力を高めていけるよう取り組んでいきたいと考えています。

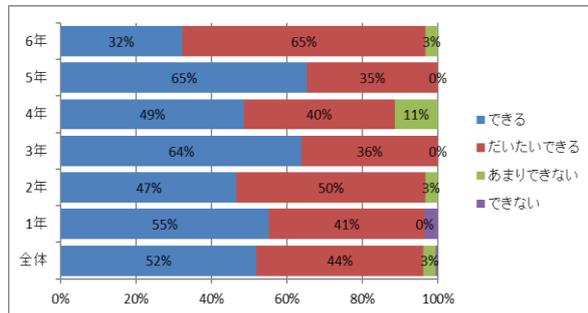
6 自分の考えや思っていることを話すことができますか



7 お子さんはあいさつや場に応じた言動ができていますか

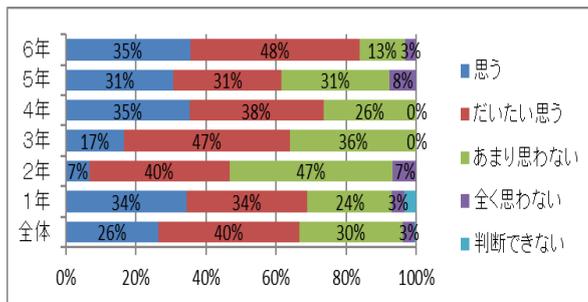


7 あいさつや正しいことばづかいができていますか

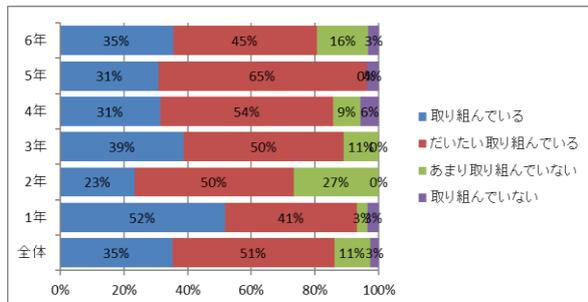


「しっかりあいさつができています」とした保護者は27%、児童は52%で2倍近い差がありました。確かに児童の学校での挨拶はきちんとできており、児童会で行っている「あいさつ運動」などの取り組みにより、挨拶に対する児童の意識も高まっています。学校を訪れたお客様からも子供たちの挨拶にお褒めの言葉をいただいております。その一方、家庭や地域での挨拶については、もう一步という現状であるといえます。学校では、子供たちの挨拶の意識を更に高め、いつでもどこでも自然に挨拶ができる児童を育てていきたいと考えていますので、引き続き、御家庭の御協力をお願いいたします。

8 お子さんは家庭での学習は自分から進んで取り組んでいますか

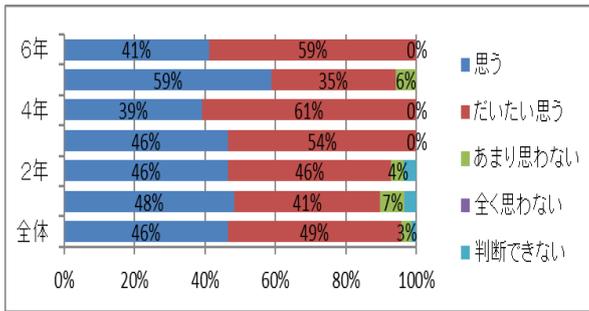


8 家庭での学習に自分からすすんで取り組んでいますか



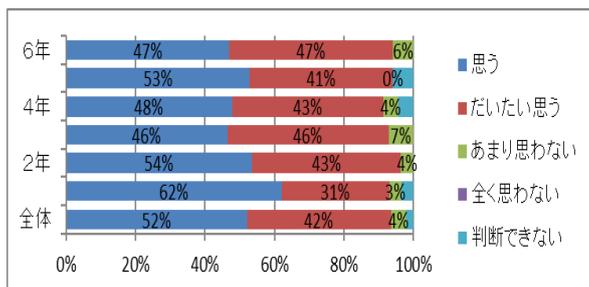
家庭学習への取り組みについては、昨年度と同様に、学年による差や個人差が大きくなっています。低学年のうちに家庭学習の習慣を身に付けることが大切であり、家庭学習での復習が知識の定着に大きく関わっているという研究結果もあります。これからも「東宮城野小スタンダード」を基に、各学年に応じた宿題や家庭学習の内容などについて、学校と家庭で共通理解を図りながら取り組ませていく必要があると考えます。

9 本校の教育活動に満足していますか



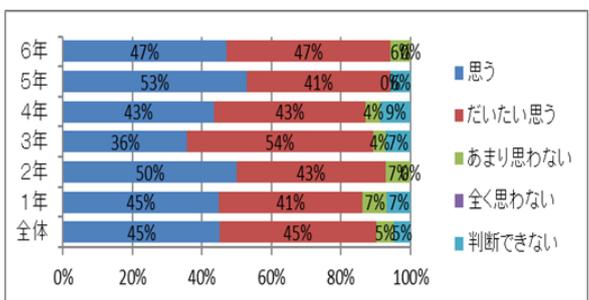
保護者の95%が「満足、だいたい満足している」と答えています。しかし、満足されていない保護者の方や判断できないとした方もいらっしゃいますので、目標をより明確にした教育活動の実践を目指していきたいと考えます。

10 学校からの情報が適切に提供されていると思いますか



学校からの情報提供については、よい傾向の評価が90%を超えています。しかし、十分ではないと感じている保護者の方もいらっしゃいますので、今後、保護者の方や地域の方の御意見を参考にしながら、適切な情報の発信について検討していきたいと考えています。

11 学校は保護者や地域の意見等に適切に対応していると思いますか



この項目についても、90%の保護者の方が良い評価をしています。一方、「あまり適切に対応していない」という方もいらっしゃいます。学校では、対応が適切ではなかったと思われる点について真摯に反省し、改善を図っていきたく考えています。また、学校の対応等でお気づきの点などございましたら遠慮なくお知らせください。

